

第6回ふるさとパンフレット大賞

受賞団体のコメント

【大賞】秋田県「県勢情報誌 One and Only JAPAN AKITA」

このたびは、大変栄えある賞を賜り、誠にありがとうございます。

本県は美しい四季や泉質豊富な温泉をはじめ、世界的に人気の高い秋田犬や、角館などの歴史ある街並み、なまはげや竿燈などの多彩な伝統行事、発酵食をはじめとする多様な食文化、全国トップレベルの教育など、特徴的な地域資源を数多く有しております。

当情報誌は、こうした秋田の持つ様々な地域資源を国内外に印象的に伝えるためのツールとして、日本語のほか、英語など合わせて7か国語で制作しました。

タイトルの“One and Only JAPAN AKITA”には、秋田を訪れた人が、秋田の「美しく」「きれいで」「すごい」光景と「良好な関係＝絆」を結ぶことで、その体験を「唯一無二」なものにしてほしいという思いを込めております。

今回の受賞を機に、当情報誌を多くの方にご覧いただき、一人でも多くの方に秋田ファンになっていただければ幸いです。「秋田犬のふるさと」で皆様のお越しをお待ちしております。

【優秀賞】石川県小松市「こまつまなび～こまつの文化にふれて～」

石川県小松市は日本海と霊峰白山に包まれた自然豊かなまちであると同時に、たくましい産業をベースに曳山子供歌舞伎や九谷焼などの町人文化が育まれてきました。先人から受け継いだ地域資源に恵まれたこのまちを、世界中の人に知っていただき、体験してもらいたいとの思いからこのパンフレットを作成しました。

「こまつまなび ～こまつの文化にふれて～」は、「見て・ふれて・感じる」ことができるスポットを、外国人らの意見も参考に選んだ美しい写真とともに紹介しています。10個のカテゴリーに分け、ページごとに紹介することで、本市の魅力を多様な面から発信し、様々な方の興味を引く構成にしました。これを手に取り、小松市の新たな一面を見つけ、興味を持っていただけると幸いです。

最後になりますが、この度はこのような光栄な賞をいただき、誠にありがとうございました。

【南伸坊賞】福岡県吉富町「聞かれすぎて慣れました 吉富町ってどこ？」

この度は、「南伸坊賞」をいただき、誠にありがとうございます。

吉富町は、福岡県の東、大分県との県境に位置する九州で一番小さい町です。あまりのコンパクトさゆえに、知名度も低く福岡県民からもその存在をほとんど知られていません。

そのような状況の中で作成したパンフレットには、表紙にあえて写真やイラストを使わず、文字だけで構成する斬新でインパクトのあるデザインを取り入れました。町民はもちろんのこと吉富町を知らない方でもくすっと笑える自虐を込めたものや魅力をPRするキャッチコピーが並んでいます。

この表紙が話題となり、多くのメディアに取り上げていただき、さらに「南伸坊賞」という大きなプレゼントもいただき、大変うれしく思っております。

今回の受賞を機に、たくさんの方々のご縁をつなぐことができれば幸いです。是非、パンフレットをご覧ください、九州一小さな町の心意気を感じてください。

【楓千里賞】大分県竹田市「暮らすように旅する竹田 つくりてのつくるば」

竹田市は大分県の南西部に位置する人口約2万2000人の町です。少子高齢化が著しく進行し、過疎化が深刻な問題となるなか、豊かな自然に守られた魅力ある町を守るために「農村回帰宣言」を標榜。都心部から地方への移住を推進してきました。

近年では移住者支援制度を利用し、移住者が増加。特に作家やアーティストなど「つくる」ことを仕事にする人が暮らしの拠点として竹田市を選んでくれるようになりました。

パンフレットでは竹田市で活躍する「つくり手」たちの暮らしにフォーカスすることで、観光とは一味違う、暮らしの「つくり方」のヒントを見つける旅を提案しています。暮らすように旅をしながら、素顔の竹田に出会えますように。皆様のご来竹をお待ちしております。

【パックス賞】天草・宇土半島地域広域連携事業実行委員会「天草・宇土半島 ワイルド島と男メシ」

天草・宇土半島地域は、熊本県の南西部に位置しており、雄大な自然や特徴的な歴史・文化、豊かな食材を生かしたグルメなど、魅力ある観光資源に恵まれています。

第2回ふるさとパンフレット大賞では、気軽な散策やウォーキング、ご当地スイーツなどを、女性にターゲットを絞って提案する「スイーツ島の山ガール」で“マックス賞”をいただきました。

今回は、これと対をなす男性（お父さんと息子）にターゲットを絞ったものを制作しようと、男目線で「カッコイイ」「男らしい」をコンセプトに、天草・宇土半島地域で体験できるマリンスポーツをはじめ、体験後に食べてもらいたい男メシや、お母さんへのお土産リストなどを掲載。天草・宇土半島地域（宇土市・宇城市・上天草市・天草市・天草郡苓北町・熊本県）が一体となって取り組みました。

これらのパンフレットを手に、天草・宇土半島地域で体験できる、さまざまなアウトドア・アクティビティを多くの皆さまにお楽しみいただければ幸いです。今回、“マックン賞”をいただき、大変ありがとうございました。

【マックン賞】群馬県嬭恋村「妻との時間をつくる旅 公式ガイドブック」

この度は「マックン賞」をいただき誠にありがとうございます。大変光栄に思います。

嬭恋村の名前の由来は日本武尊がこの地で「わが妻恋し」と嘆いたという故事に由来します。この名前の由来を活用して、「愛妻の丘」などを整備し、愛を叫ぶイベント「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ（キャベチュー）」の開催、「愛妻家の聖地」として村の活性化に取り組んでいます。

今回のガイドブックは「妻との時間をつくる旅」のコンセプトにご賛同いただいた村内外の作成チームのご協力の下、行政だけでは絶対にできなかった1冊になりました。このガイドブックを通じてたくさんの方が嬭恋村を知っていただければ幸いです。

【地域活性化センター賞】静岡県静岡市「しずおか東海道まちあるきガイドブック」

この度は、大変光栄な賞をいただき、ありがとうございました。「しずおか東海道まちあるきガイドブック」は、静岡市の有する、東海道の六つの宿場と二つの峠の歴史や文化、食などの魅力がぎゅっと詰まった一冊です。

静岡市は、一年を通しての穏やかな気候と、海の幸や山の幸など豊かな地域資源に恵まれているまちです。それは、かつて本市で大御所時代を過ごした徳川家康公によって本格的に整備された、江戸と京を結ぶ「東海道」の、ヒトやモノの往来により生まれ、根付いてきた資源により築かれたものです。

宿場町には、かつての面影を残した街並みと、現代の新しい文化が共存する、「しずおか」ならではの街道文化が生まれております。そんな「しずおか」の東海道を、ゆったりとお洒落に楽しむきっかけにしてほしい、という想いでこのガイドブックを制作しました。

「しずおか東海道まちあるきガイドブック」を1人でも多くの方が手にとり、

本市へ足をお運びいただく時を、心よりお待ちしております。

【敢闘賞】群馬県沼田市「天空の城下町 真田の里 沼田」

この度は、『天空の城下町 真田の里 沼田』に「敢闘賞」をいただき、誠にありがとうございます。

このパンフレットは従来の観光パンフレットから趣向を変え、沼田市の良いところ、良いものを視覚でアピールすることを目的として作成しました。そのため、説明よりも写真を中心に構成されています。観光交流課のスタッフが考えに考えて完成した力作のパンフレットです。

「その城下町は日本一美しい河岸段丘にありました」と謳うように、かつては真田の里として、戦国武将がこの地を奪い合った天空の城下町と称される群馬県沼田市。河岸段丘の美しさ、またその中にあるオススメスポット、ローカルフードやフルーツ、自然等、沼田市の良いところを写真にギュッと納めています。視覚で感じ取るイメージから沼田市に興味をもって訪れていただければ幸いです。

今回の受賞をきっかけにより多くの方々に見てもらい、群馬県沼田市のことを知ってもらえればと思っています。

【敢闘賞】東京都港区「Minato City Guide and Etiquette 港区観光&マナーブック」

このたびは「敢闘賞」をいただき、ありがとうございました。「Minato City Guide and Etiquette」は、港区の見どころを、私たちが大切にしてきた文化やマナーとともに紹介する冊子です（英語・中国語・ハングル併記）。

港区は、交通の要所で日本の空の玄関、羽田空港、成田空港と直結しており、海外からの旅行者が最初に訪れる街の一つです。

東京タワーや増上寺、お台場をはじめ、数ある史跡や観光スポットはもちろん、外国人旅行者が戸惑いがちな、公共交通機関やシェアサイクルの使い方、商店街での買い物、居酒屋での「お通し」や会計方法までを網羅し、区内を気軽に巡ってもらえるよう工夫をしました。日本の文化を、さらに一歩踏み込んで楽しんでいただくため、新橋・赤坂のお座敷や茶の湯の体験、屋形船や銭湯のガイドも掲載しています。

多くの方が、この冊子を手にも、港区のまち・人が持つ魅力に触れていただくことを願っています。